

令和元年度 名古屋高速道路公社 入札監視委員会の結果について

開催日及び場所	令和元年8月7日(水) 名古屋高速道路公社 黒川ビル2階 大会議室	
委員	長谷川 ふき子(委員長 弁護士)・張 鋒(大学教授)・野田 直季(公認会計士) (敬称略)	
審議対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
抽出事案 〔工事〕	総件数 2件	
一般競争入札	(総合評価落札方式) 2件	平成30年度高速11号小牧線伸縮装置等補修工事
		平成30年度高速1号楠線遮音壁修繕工事
抽出事案 〔建設コンサルタント業務等〕	総件数 2件	
一般競争入札	(価格競争方式) 1件	平成30年度交通関連資料作成業務委託
随意契約	1件	平成30年度交通シミュレーション検討業務委託
委員の質問等 に対する回答	質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
講評	<p>①抽出事案について、入札の手続きが適正に処理されている。</p> <p>②低入札への対応については、工事の品質確保と下請けを含めた受注者の利益確保が重要である。それらに関しては、今後も十分な配慮をしていただきたい。</p> <p>③今後も社内でのチェック体制等を工夫して、適正な入札の手続きをしていただきたい。</p>	

## 委員の質問等に対する回答

### 1) 工事

抽出事案	質問	回答
平成30年度高速11号小牧線伸縮装置等補修工事【一般競争】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が1者のみとなった理由は。</li> <li>・総合評価落札方式における技術的要素の内容は。</li> </ul>	<p>参加者が1者のみとなった理由は、施工箇所が点在した13箇所の橋脚上での作業となるため、現場全体の管理が難しいことや、夜間交通量の多い国道を規制しながら足場等の設置・解体をする必要があるため、施工効率が上がらず採算がとれないと判断したと推察される。</p> <p>技術的要素の内容は、施工時の足場からの資機材の落下を防ぐ安全対策及び近隣住民への騒音を軽減する沿道環境対策を求めた。</p>
平成30年度高速1号楠線遮音壁修繕工事【一般競争】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率が低かった理由は。</li> <li>・低入札価格調査の結果、落札決定とした理由は。</li> </ul>	<p>本工事は、低入札聞き取り調査の結果、受注者は安価に材料調達できること、及び自社施設を工事事務所として活用することにより経費削減を図ることができることが低入札につながっているものと推察される。</p> <p>落札決定とした理由は、公社等における受注実績、優良工事表彰実績があること、また、下請け予定業者にしわ寄せをしないことを誓約書で確認し、適切な工事履行が確保できると判断したためである。</p>

### 2) 建設コンサルタント業務等

抽出事案	質問	回答
平成30年度交通関連資料作成業務委託【一般競争】	<p>当初発注時に不調となり、再発注した業務であるため以下の点について知りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不調となった理由は。</li> <li>・見直した内容は。</li> </ul>	<p>不調になった理由は、2者より入札参加があったが、2者とも最低制限価格を下回り失格となったことによるものである。</p> <p>見直した内容は、業務量についてであり、再発注の手續に一定期間を要し業務期間が短くなることを踏まえ、積算し直した。</p>
平成30年度交通シミュレーション検討業務委託【随意契約】	<p>落札率が100%となった理由は。</p>	<p>本業務は、マイクロシミュレーションの改修業務が唯一可能な業者と随意契約したものであり、その際、徴取した見積を単価確認のうえ採用し、積算した。加えて公社の積算基準には、歩掛かりが存在しない業務であることから、結果的に落札者が予定価格と同額で応札したと推察される。</p>